

ショートコメント vol.168 (2020年4月30日)

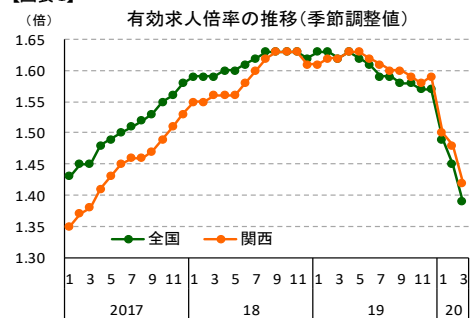
テーマ：雇用情勢の悪化は明白も、リーマンショック後とは異なる動き
 ～近年の人手不足が雇用の本格的な悪化の歯止め～

●20年3月の雇用指標

3月の雇用指標が発表され、新型コロナウイルスの影響による雇用情勢の悪化が明らかとなっている。まず、有効求人倍率は全国で1.39倍と前月から0.06ポイントの低下、関西も1.42倍と0.06ポイントの低下となった(図表1)。有効求人倍率はこのところ悪化が目立ち、直近の4か月で0.2ポイント弱の低下となっている。その要因は求人数の急激な減少であり、企業の経営環境の悪化に伴う変化といえよう。

さらに、完全求人倍率(原数値)にも悪化傾向がみられる。全国は2.6%と前年比で0.1ポイントの上昇、関西は3.1%と0.3ポイントの上昇となっている。求人倍率に比べれば悪化の度合いは限定的であるが、特に関西で3%台となったのは16か月ぶりであり、その変化は無視できない。

【図表1】



(出所)厚生労働省「職安統計」

●リーマンショック後との比較

ただし、雇用情勢が悪化しているとはいえ、過去の景気悪化局面とは動きが異なる。今回のいわゆるコロナショックはリーマンショックと比較されることが多いが、雇用への影響でいえば、その違いは大きい。

というのも、リーマンショック後の動きをみると、08年9月以降、求人数、求職者はともに悪化傾向が進み、就業者、失業者についても、連動するように悪化が進んだ。

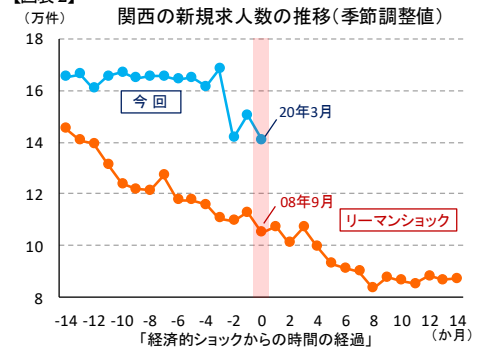
つまり、雇用情勢は一樣に悪化が進んだが、今回については悪化の動きが一部にとどまっている。たとえば図表2、3のとおり、求人数には大幅な減少がみられるが、求職者数は依然として減少が続いている。

一般的に、求人が大きく減る状況といえば、雇用情勢が悪化局面にあり、解雇や失業が増えることから、求職者にも次第に増加圧力がかかる。

求人の減少と求職者の増加には若干のタイムラグがあるとはいえ、今回はいまだに減少が続いており、その点での違和感は大きい。

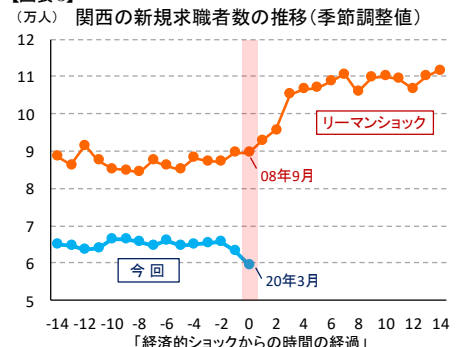
この要因としては、感染への不安から求職活動が十分に行えていない可能性はもちろんあるが、企業による解雇の動きがリーマンショック後に比べると、まだ限定的である可能性が指摘できよう。

【図表2】



(出所)厚生労働省「職安統計」

【図表3】



(出所)厚生労働省「職安統計」

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

●就業者数と失業者数の動き

これは、就業者数と失業者数の動きにも表れている。

図表4、5でみると、今回も失業者は増え始めているものの、就業者数は前年比で依然として増えている。リーマンショックの際は、その少し前から減少が始まっており、今回とは動きが大きく異なる。

結果的に、前年比では失業者が4万人増えたのに対し、就業者は17万人増えたことになり、一見すると、雇用情勢の好不調の判断も下しにくい。

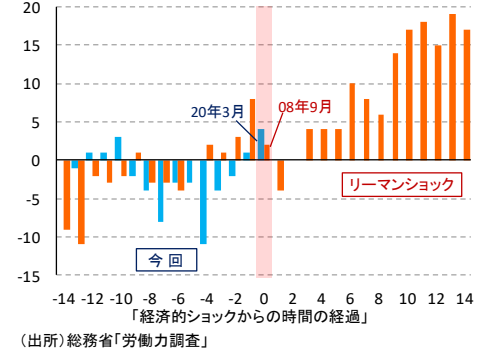
この就業者数の増加については、先の求職者の減少も含めて、やはり企業を取り巻く近年の人手不足が大きく影響していると考えられる。長らく慢性的な人手不足が続いたことで、企業全体としての解雇の動きが、リーマンショック後に比べるとまだ限定的である可能性が高い。

●今後の注目点

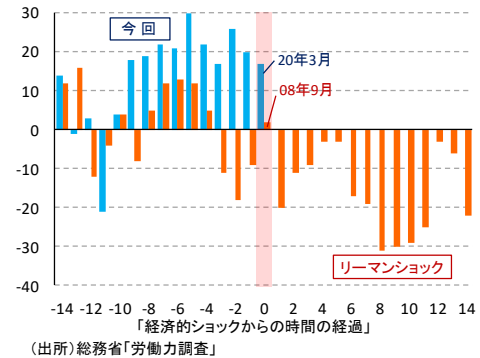
ただし、新型コロナウイルスの感染終息のめどが立たない中、今後も景気の後退は進むため、さらなる雇用情勢の悪化は避けられない。

現時点では部分的な悪化にとどまっているとはいえ、いずれ本格的な動きが始まることが予想される。その試金石となるのは、やはり就業者数や求職者数といった指標になろう。これらの悪化が始まれば、雇用情勢が本格的な悪化が始まったとみるべきであり、緊急事態宣言の延長の可能性が高まった今、そのタイミングがいつ訪れてもおかしくないと考えられる。

【図表4】 関西の失業者数の推移(原数値・前年差)



【図表5】 関西の就業者数の推移(原数値・前年差)



本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL:070-6633-0038 mail:hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。